

INDIA POABS BIODYNAMIC NATURAL

POABS

Biodynamic



農園名：ポアブス・エステート(POABS)社、
セータルグンディ(Seethargundy)農園
所在地：インド南西部、ケララ(Kerala)州北部
ネリヤンパティ(Nelliampathy)丘陵
北はパルカット(Palakkat)断層を望む絶壁、
南はパランビクラム(Parambikulam)
野生動物保護区と境界を接している。

標高：900～1250m

面積：総面積344 畝 (内コーヒー160 畝)

アラビカ約120 畝 / ロブスタ約40 畝

品種：アラビカ S9

精製：ナチュラル

収穫期：11月初旬から1月末

収穫方法：赤実を4回に分けて手摘み

認証：JAS有機

Demeter認証 (ビオダイナミック農法)

・ビオダイナミック農法・

人智学のルドルフ・シュタイナーによって

提唱された有機農法・自然農法の一つ。



インド南西部、コーヒーの伝播の歴史を飾るパプダン師が七つのコーヒーの種を手にとり着いたとされるマラバル海岸を擁するケララ州は、インドでも最も自然が豊かに残り、人々の生活水準も高い地方です。このケララ州を貫く西ゴート山脈の山中、パラムビクラム自然公園に隣接したセータルグンディの地でポアブス・エステート社が、世界でも最高水準の自然農法を駆使してインドのトップスペシャリティコーヒーを生産しています。農園は19世紀末期にイギリス人により入植されましたが、その後の変遷のあと、ポアブス社が1988年に経営を引き継いだ際には、半ば放置された状態でした。そこでポアブス社は、創業者のアブラハム氏の社会福祉に篤い社是に則り、その農園の労働者をそのまま雇用し、さらに、周辺の環境にもやさしい農園へと変貌させます。その農法は、土壌と植物、動物の相互作用だけでなく、天体の動きにも着目した農業を行うビオダイナミック農法で、乳牛を飼い、またコーヒー以外の農作物も生産することで、農園自体がひとつの循環系となるものです。コーヒー農園は、シェードツリーにしっかりと守られ、農園内で精製される有機肥料により、ゆっくりと育てられます。現在の農園主トーマス・ジェイコブ氏は、近年のスペシャリティコーヒー市場からの需要にも柔軟に対応し、当初の水洗式のみならず、ナチュラルや、いわゆるパルプド・ナチュラル製法などにも取り組み、さまざまなニーズに応えることに成功しています。